

# 倫理哲学

Ethical Philosophy

業：K1-13101MY、生命：K1-13101MS

素養科目 1、2、3年／前・後期 1単位 選択科目

科目責任者 川北 晃司(倫理学研究室)

## ■教育目的

倫理と哲学に関わる思想を学ぶとともに、現代における環境倫理、青年の発達課題、幸福、個性、使命、生きがい、正義など、広範囲の応用哲学・倫理的なテーマを考察する。【卒業認定・学位授与の方針:YD-①、YD-④、YD-⑤、SD-④、SD-⑤】

## ■学習到達目標

1. 倫理・哲学的な思想(家)・理論・課題について列挙できる(知識)
2. 倫理・哲学的な思考態度・習慣について理解・評価できる(知識、態度)
3. 自分のライフサイクルのあり方について見つめ直す(態度)

## ■準備学習（予習・復習）

予習：日頃から倫理・哲学関連の話題に注目し、可能ならば新聞紙を読む。(20分以上)

復習：配布物を読み返し、要点をチェックするとともに、気になる箇所があれば自分で調べてみる。(30分以上)

## ■授業形態

双方向型授業、講義

## ■授業内容

| No. | 項目                   | 授業内容                                               | SBO コード             |
|-----|----------------------|----------------------------------------------------|---------------------|
| 1   | 導入<br>現代(日本)人の日常的課題  | 「人類の宿命的課題」(S. フロイト)とは<br>臨床心理学者・河合隼雄(「こころの処方箋」)に学ぶ | A(1)-①-7、B(1)-①-1   |
| 2   | 哲学とは<br>大人とは         | 哲学における3種類の問い(I. カント)<br>「大人になることのむずかしさ」(河合隼雄)      | A(1)-①-7、B(1)-①-1   |
| 3   | 青年期の発達課題<br>自立・若さ・青春 | 「心理的防衛機制」とは何か<br>S. ウルマンの Youth 論など                | A(1)-①-6～7、B(1)-①-1 |
| 4   | 生きがい論                | 精神科医・神谷美恵子著「人間をみつめて」                               | A(1)-①-6～7          |
| 5   | 幸福、個性、使命             | 与謝野晶子、D. ハマーショルド、澤瀉久敬                              | A(1)-①-6～7          |
| 6   | 人類と自然のあるべき関係とは       | 現代における環境倫理の草分け、R. カーソンの問題意識                        | A(1)-①-6～7          |
| 7   | 望ましい文明、世代間倫理とは       | 明治期日本の環境運動、環境倫理の三本柱                                | A(1)-①-6～7          |
| 8   | 環境倫理の新展開             | 「ディープ・エコロジー」(A. ネス)の主張と自然界における「多様性」をめぐる問題          | A(1)-①-6～7          |
| 9   | 正義とは何か(1)            | アリストテレス、J.S. ミル他                                   | A(1)-①-6～7          |
| 10  | 正義とは何か(2)            | J. ロールズ、R. ノージック、M. サンドル他                          | A(1)-①-6～7          |
| 11  | フェアネスとは何か            | O. ボルノウ、M. ミード他                                    | A(1)-①-6～7          |
| 12  | 人間の偉大と悲惨、道徳の根源       | B. パスカル「パンセ」                                       | A(1)-①-5～7          |
| 13  | 学生レポートとの対話(1)        | これまでの学生レポートにコメントを加え質問に答える                          | A(1)-①-5～7          |
| 14  | 学生レポートとの対話(2)        | これまでの学生レポートにコメントを加え質問に答える                          | A(1)-①-5～7          |
| 15  | 学生レポートとの対話(3)        | これまでの学生レポートにコメントを加え質問に答える                          | A(1)-①-5～7          |

## ■授業分担者

川北 晃司(No.1～15)

## ■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：質問等に対しては第13回授業からまとめて回答する。

成績評価方法：第2回から第12回の授業後ごとに提出するレポート全11回の合計点で評価する(レポート100%)。

## ■教科書

指定なし。

## ■参考書

授業中に紹介します。

## ■その他

オンライン・オンデマンド形式の授業です。